

きらめき

奈良

創刊号

子どもたちには夢があります。未来があります。可能性があります。

私たちの大切な宝である子どもたちが、自らの力で輝き、地域や社会、未来を照らす光となるように、奈良市ではさまざまな教育を行っています。奈良市教育だより『きらめき☆奈良』では、奈良市の教育を紹介します。



「給食おいしいよ。」

順次始まる中学校給食
富雄第三中学校1年生

「うん、その調子。」

30人学級で一人一人によりきめ細かな教育を
三碓小学校4年生

「毎日楽しいな。」

今年開園した
認定こども園左京幼稚園

“That's a great idea.”

All Englishによる英会話の授業
一条高等学校(外国語科)2年生

「奈良市教育だより」の愛称募集に応募、ありがとうございました。

「奈良市教育だより」の愛称は、伏見南小学校6年生のお友達が考えてくれた『きらめき☆奈良』に決めました。募集期間は、わずか2週間ほどでしたが、小学校1年生から中学校3年生まで総数1355通というたくさんの応募をいただきました。

愛称は、6月7日(火)の教育委員会で選びました。応募名の中には、「さずな」、「友達」、「仲間」など、「さすが奈良市の子は優しい心の持ち主ばかり。」と感心した愛称がたくさんありました。

愛称を決めるときには、次の3点を基準にしました。

- ①みなさんに愛されるような音の響き
- ②明るく、未来を照らすようなイメージ
- ③「奈良市の教育だより」にふさわしい言葉

選ばれた『きらめき☆奈良』は、まさに、この基準にぴたりと当てはまりました。

みなさん、この詩を知っていますか？

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのやうに、
夜がくるまで沈んでる、
星のお星は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。
【金子みすゞ全集】JULA出版局より



金子みすゞの「星とたんぽぽ」という詩の一節です。

子どもは、空にきらめいている星です。一人一人が、自分の色をもって輝いています。たとえ昼間は見えなくても、24時間、365日輝いているのです。そんな子どもたちを、現在から未来まで見守り、はぐくんで行くことが私たちの務めだと思っています。『きらめき☆奈良』は、とても素敵な愛称です。奈良市の子どもたちが、この愛称のように、きらきらと輝き、素晴らしい大人に成長していってくれることを心から願っています。(杉山雅彦教育委員長)

お知らせ★コーナー

安全とおいしさをお届けする、奈良市の学校給食



みんなの給食は、安心して食べられるよ!

今年の3月から二通りの体制で、給食に使う食材の放射能検査を行っています。一つは、国が定めた「地方自治体の検査計画」に示された17都県の農水産物の中で、放射能測定検査表が付いていない食材についての調理前の検査です。もう一つは、冷凍保存した1週間分の調理済給食を、学校ごとにまとめた検査です。結果は、奈良市のホームページで公開しています。

学校給食で使用する食材は安全・安心を第一に考えています。また、地元でとれた食材や近隣地域で作られているもののできる限り使い、栄養のバランスやカロリーのことを考えて献立を作成しています。

子どもたちに大人気のカレーやシチューは、バターと小麦粉から作った私たち自慢の手作りのルーを使っているのよ。ほかの料理も、昆布やうめ節からだしを取ったりして、うす味でもおいしく食べられるようにしているの。
みなさん、栄養たっぷりのおいしい奈良市の給食を、楽しく残さずに食べてね。(給食調理員一同より)



知らなかったわ。奈良市の給食って、いろいろな工夫がしてあるのね。調理員さん、ありがとう。



学校園のホームページをリニューアル <http://www.naracity.ed.jp>

市立学校園のホームページをすべてリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。 [奈良市立学校園](#) [検索](#)

教育委員会のことは奈良市ホームページ(<http://www.city.nara.lg.jp>)をご覧ください。



おはよう おかえり こんにちは
声かけ 気にかけて 笑顔かけ
守ろう、地域の子供たち
毎月17日は「子ども安全の日」です。

記事に対するご意見やご感想等がございましたら、下記までお知らせください。

奈良市教育委員会事務局 教育総務課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
Tel.0742-34-5297 Fax.0742-34-6917



環境にやさしい植物油インキと古紙配合率100%再生紙を使用しています。

仲川市長と奈良市の教育を語る

～奈良で学んでほしいこと～

仲川げん奈良市長を樺井小学校にお迎えして対談を行いました。対談の前には授業を参観していただき、そのあと5年生の子どもたちを交え「奈良の魅力」や「子どもたちへの思い」を語り合いました。

市長さん、子どもたちの様子をご覧になって、いかがですか。



はい。すごく一生懸命、真剣な表情で勉強しているなあと感じました。

樺井小学校はすごく古くからある学校です。ここで学ばれた方がたくさんいらっしゃると思います。みなさんのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが樺井小学校に通っていたという人、いますか。

はい。お父さんが通った。

おじいちゃん。

おじいちゃんとおばあちゃんとお父さん。

(次々に発言)

はい、ありがとう。

親子で通った人がたくさんいるということは、それだけ歴史があるということ。今年、樺井小学校は創立140周年を迎えますが、歴史はすぐにつくることが出来るものではありません。この後も、みなさんの孫やひ孫まで楽しく通える学校にしてほしいと思います。

ありがとうございます。

それでは、ここで「奈良で学んでほしいこと」というテーマについて、お話をうかがいたいと思います。

まず「奈良の魅力」についてお話をうかがいます。今、市長さんからは「歴史はすぐにつくることが出来るものではありません。」というお話がありました。教育長さんは、「奈良の魅力」は、どのようなところにあるとお考えですか。

はい。私は奈良で生まれ育ちましたが、本当に素晴らしいところだと思っています。

たとえば、1300年前に都があった町ですね。日本中を探しても、都があった町はそんなにありません。しかも、都にあったお寺や神社が、今も奈良の町の中にあつて、みんながそこを訪れて大事にしている、そこが奈良の魅力ですね。

私は、奈良で育ったあと、東京で働いていました。今でもよく出張に行きますが、奈良駅に

ばで伝えられる人になってほしいと思っています。

市長さんはいかがですか。

はい、そうですね。教育長さんがおっしゃったように、みなさんには、身のまわりに世界遺産が多くあることを、誇りに感じてほしいと思います。それは、これからは、世界とつながっているかどうかが大切な時代になるからです。みなさんもニュースやスポーツなどを通じて、いろいろな国を身近に感じているでしょう。

先日は、ベトナムで開かれた世界歴史都市会議に行つて、みなさんの先輩が作った奈良を紹介するDVDを、世界のの人たちに見てもらいました。このように、みなさんの日頃の学習や活動のすぐ先には、世界が待っています。日本をいい国

降り立つとなつつかしいところに帰ってきたような、ゆつたりとした落ちつく雰囲気を感じます。これが奈良のいちばんいいところだと思います。

一度も奈良に住んだことがない人や、初めて奈良を訪れた人でもそうおっしゃる方がたくさんいらっしゃると思います。そういう町は、世界にもあまりないのではないかなと思います。

ありがとうございます。市長さんからは、「ゆつたりと落ちつく雰囲気」が奈良にはある」というお話でしたが、教育長さんはそのような町で、子どもたちはどのような勉強をして、どのような子どもに育ってほしいと考えておられますか。

奈良の町には、奈良時代から受け継がれた『ほんもの』がたくさんあります。

たとえば、毎年秋に正倉院展が開かれ、世界に一つしかないようなものが展示されるわけですね。そういうものを見て、「すごいなあ」と感動する体験をたくさんしてほしいと思います。この感動が心の中に積み重なっていくときに、人間としてのいちばん基礎になるものができていくと思います。

昔の人が伝えてくれたものや心を学んで、次の世代に残すための自分の役割を知り、学んだことを多くの人に発信してほしいですね。奈良で学んだことを誇らしげに語れる子、自分のこと

にするのと同時に、世界と仲よくおつきあいができる力をつけてほしいです。

そうですね。今、市長さんがおっしゃったように、奈良の子どもたちが学校で学んだことを、外国の人たちにも伝えていくことができる。そんなふう

このあと対談は、本市の小学校の英語教育にも話が及んでいきました。その後、子どもたちからは、「なぜ、市長や教育長になろうと思ったのですか?」「普段はどんな仕事をしているのですか?」「など、単刀直入な質問が飛び出し、終始、和やかな雰囲気の中で進行していききました。



市長から子どもたちへ

私たちは、ずっと同じところにいると見るものすべてが当たり前になってしまいます。しかし、少し環境を変えてみると、それがいかに特別なのか分かってきます。みなさんには、いろいろな見方や考え方ができる人になってほしいです。

これからは、世界とどのようにおつきあいをし、仲よくしていくのが重要な時代になります。そのためには、世界とつながっていくことを大切にしてください。



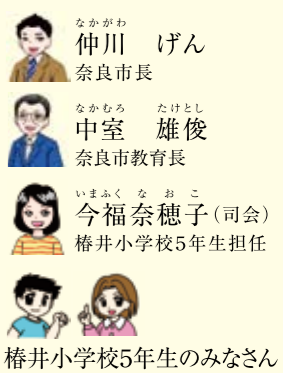
教育長から子どもたちへ

「今ある大事なものを次の世代に残していく」ということは、とても大切なことです。奈良の伝統や文化財は、今まで偶然に「残ってきた」ものではありません。その時代時代の人々が守り受け継ぎ、「残してきた」ものです。みなさんには、その『ほんもの』にふれ、守り伝えてきた人たちの思いや営みを学び、今度は自分たちが受け継ぎ、未来へ伝えていくしてほしいと思います。



子どもたちから寄せられた感想

- ぼくも遠いところから帰ってきたときに、なんとなくつかしいように感じます。奈良の風景や世界遺産を残していきたいです。
- 私も旅行から帰ってきたとき「やっぱり奈良は落ち着いていいなあ。」と思います。奈良のことを外国の方々にたくさん知っていただくために、英語をもっと話せるようになりたいです。
- 私は世界遺産が身近にあるのが当然だと思っていました。でも、それが当然ではないことに気づき、とても誇らしく思いました。
- ぼくは、市長さんたちが話をしてくれた奈良の魅力を探していきたいと思います。今日は、ありがとうございました。



樺井小学校5年生のみなさん